

# ◆ DOGGYM Shake! Dog Dance Competition 規定書 ◆

- ◆ **出場資格：**生後6ヶ月以上の犬。  
発情犬は出場不可。

◆ **開催クラス：**

|              |  |
|--------------|--|
| スタータークラス     | 競技会への出場が2回未満のペアが対象となるクラス。リード付き可。               |
| ノービスクラス（Ⅰ・Ⅱ） | 競技会への出場が2回以上のペアが対象となるクラス。すべてノーリードでの演技。         |
| アドバンスクラス     | 当競技会のノービスクラスⅡにて4位までに入賞したペアが対象となる。すべてノーリードでの演技。 |
| シニアクラス       | 犬が10歳以上、またはハンドラーが65歳以上の方が対象のクラス。すべてノーリードでの演技。  |
| グループクラス      | 2組以上で演技をおこなうクラス。<br>すべてノーリードでの演技。              |

- 全クラス、モチベーター（おもちゃ、おやつ等）の使用は可能です。ただし、落とした場合は、必ず拾うなどして、次のペアの妨害とならないように配慮すること。
- クラス昇格制度について
  - ・スターター2回出場したペアは、ノービスへ昇格となる。
  - ・ノービスⅠ・Ⅱとも上位4位までの入賞者は、上のクラスへ上がる。  
（ノービスⅠからⅡへ、ノービスⅡからアドバンスへ）

◆ **ルーティンタイム**

|          |          |
|----------|----------|
| スタータークラス | 1分30秒～3分 |
| ノービスクラス  | 2分～4分    |
| アドバンスクラス | 2分～4分    |
| シニアクラス   | 1分30秒～4分 |
| グループクラス  | 2分～4分    |

- ルーティンの時間は最短マイナス10秒、最長プラス10秒までは時間有効とする。
- 審査は犬、またはハンドラーが動き出した瞬間から始まる。
- 余裕の時間を差し引いても短いルーティンは失格とする。

◆ **演技スペース：**24m×20m

- 最低使用パーセントは規定しないが、スペースを十分に使って演技を行うほうが高く評価される。

## ◆ 審査基準

### ■ Routine Accuracy (構成) (20点)

|            |     |
|------------|-----|
| トリックの完成度   | 1～5 |
| ルーティンの完成度  | 1～5 |
| 演技スペースの有効性 | 1～5 |
| トリックの難易度   | 1～5 |

### ■ Interpretation (演出) (20点)

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 表現力・独自性         | 1～5 |
| リズム・ハンドラーの表情、姿勢 | 1～5 |
| ハンドラーと犬との一体感    | 1～5 |
| ハンドラーの衣装        | 1～5 |

### ●減点について

※噛みつき、吠えなどの行為

※人が犬を不必要に触る、首輪をつかむなどの行為

※演技スペースからの逸脱

### ●失格について

※演技スペースでの排泄行為

※演技時間の50%以上、犬が逸脱した場合

## ◆ 注意事項・禁止事項 ◆

※犬の身体構造から、負担となる動きを過度に採用しないこと。たとえば、身体を捻るジャンプや2足歩行など。

※小道具の使用、及び数の制限はないが、テーマから逸脱しないことと、1分以内に競技者が自分で設置、撤去できる範囲とする。

※犬は洋服や装飾品（首輪、バンダナなど）の着用も構わないが、テーマに添っていること。

※チョークチェーン、スパイクカラー等の使用は不可。

※ハンドラーは衣装着用すること。

※審査結果に関して、競技終了後の異議申し立ては不可。

※競技において、総合点が同じ場合は、**構成点**が高いほうが勝者となる。

※競技終了後、会場にて得点を掲示する。

### 規定の補足

規定されていない事項について、問題が生じた場合、ジャッジ及び競技会事務局の判断で決定します。

2024年5月1日